



6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果 県内流動及び東北域内からの観光誘客を促進することで、本県への宿泊者数の早期回復が期待できる。

指標	指標名	6月～3月の宿泊者数 外国人を除く							指標の種類
	指標式	県内宿泊施設への6月～3月の延べ宿泊者数(千人) 外国人を除く							成果指標 業績指標
	年度別の目標値(見込まれる成果による指標)								
	指標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度
	目標a			3,000					3000
	実績b	データ等の出典							
東北	宿泊旅行統計調査								
全国									
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 07月 翌々年度 月									

指標	指標名								指標の種類
	指標式								成果指標 業績指標
	年度別の目標値(見込まれる成果による指標)								
	指標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度
	目標a								
	実績b	データ等の出典							
東北									
全国									
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月									

指標を設定することができない場合の効果の把握方法  
 指標を設定することが出来ない理由

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

**現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性**  
 新型コロナウイルス感染症の影響により、本県の観光関連事業者が大きな影響を受けていることから、観光需要の早期回復を図る強力な経済対策を進める必要がある。

**住民ニーズに照らした事業の必要性**  
 観光需要の早期回復のため、経済対策の実施を望む声が多いことから、全国でも最大規模の県内流動策の展開のほか、県をまたぐ観光が解除される段階で、他県に遅れを取ることなく東北域内の誘客に取り組む必要がある。

**事業の県関与の必要性**  
 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの  
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

県が実施することで、全県域への観光誘客や流動が生まれ、県全体での広域的な経済効果が期待できる。

政策評価委員会意見		重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定

重点事業 その他